

World Autism Awareness Day

毎年4月2日は、国連の定めた

世界自閉症啓発デー

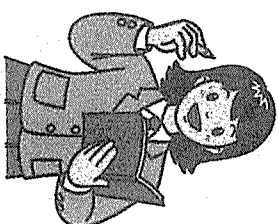
4/2(水)～4/8(水)発達障害啓発週間

発達障害のある人のため……

「身近に役立つ支援機器展」

～見る、知る、触れる、つくる～

日時＝4月3日(土) 10時～15時 入場無料＝
会場＝仙台市シルバーセンター(7階 第1研修室)



ご案内

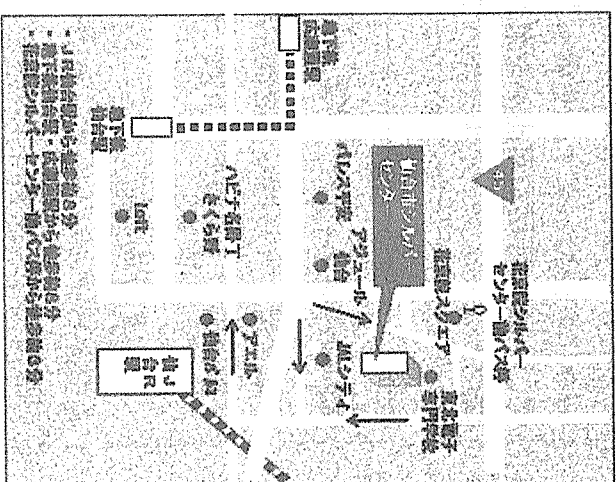
2007年12月18日の国連総会で、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されました。

これに対応して日本では、4月2日から一週間が「発達障害啓発週間」と定められ、自閉症をはじめLD(学習障害)、ADHD(注意欠如多動性障害)を含む発達障害の啓発活動を行っています。

この企画は、「発達支援ひろがりネット」が主催する宮城県で初めての「発達障害啓発週間」企画です。役立つ機器・書籍などを紹介し、実際に使ってみるワークショップを行います。当事者、保護者、支援者のみなさまのご参加をご案内申し上げます。

【主な展示、ワークショップ】

- ◎発達障害に関わる書籍およびツールの紹介
ソーシャルスキルトレーニング絵カード
コミュニケーション・ブック用シール その他
…… (協力「スペース96」ほか)
- ◎コミュニケーション支援機器の紹介
…… (協力「アクセスインターナショナル」)
…… (協力「パシフィックサイエンス」)
- ◎主なワークショップ
サポートファイル(学校編)の講習会と作成
タイマー型タイムエイドの製作
コミュニケーションエイド「あのねDS」
(タイムテーブル、費用、申込方法は裏面を参照)
- ◎保護者会、NPOの紹介



主催＝発達支援ひろがりネット

後援：日本発達障害ネットワーク(JDDネットワーク)

参加団体＝宮城県自閉症協会、シエルの会、えじそんくらぶ「森杜」親の会宮城、宮城LD児・者親の会「ほこあぼこ」、CSC親の会、ぐっぶの会、石巻アトペンチヤークラブ、ここねっと、みやぎ発達障害サポートネット、フリースクール煌、黒川こころの応援団、ほっとスペース歩*歩

【連絡先】hirogar@hotmail.co.jp

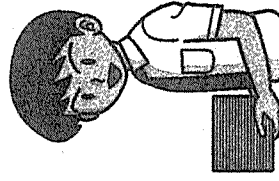
身近に役立つワークショップのご案内 支援機器展

●サポートファイル(学校編)の講習会と作成

13時～15時 教材費500円 定員30人

サポートファイルは、障害にわたる一貫した支援を支えるツールです。支援機関の連携を進め、当事者の自己理解を助けます。

とくに、お子さまが新入学を迎える保護者の方々にお薦めします。サポートファイルの考え方、どんな活用が可能かを講習でお話して、実際にサポートファイルを作ってみます。

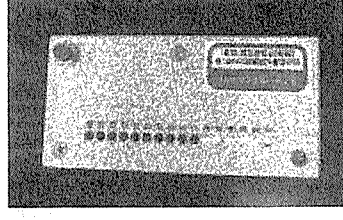


●タイマー型タイムエイドの製作

10時～13時 材料費3千円 定員10人

時間の感覚がわかりにくい障害のある自閉症児のために、時間の経過を視覚的に示して、わかりやすくツールです。

今回は、タイマーの残り時間を数字ではなく点灯するランプ(LED)の数で表示するタイプのものを、それぞれのお子さまに合わせて自作してみます。

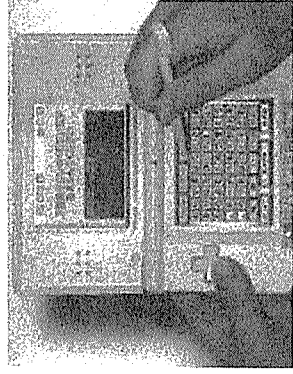


●コミュニケーションエイド「あのねDS」の体験

第1回 10時～12時 教材費5000円 定員10人

第2回 13時～15時 教材費5000円 定員10人

他の人とのコミュニケーションを支えるツールとして人気です。実際に使って体験してみましよう。自分のDSiをお持ちの方はご持参ください。



<お申込の方法>

ワークショップへの参加を希望する方は、以下のアドレスにメールでお申込ください。お名前、メールアドレス、電話(FAX)番号、希望するワークショップを必ずご記入ください。

「あのねDS」に参加を希望する人は、①申込は午前か午後か、②DSを持参するかどうかーをお書きください。

申込が定員に達したら、その時点で締め切りますので、ご確認ください。教材費、材料費は、当日ご持参ください。

【ひろがりネットのメールアドレス】hirogaire@hotmail.co.jp